

平成29年度 指定管理者評価シート

所 管 課	福祉部 地域福祉課
評価対象期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

平成29年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の援護施設を設置する。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関すること。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関すること。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A			A			1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A			B			(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	介護保険制度に基づき、在宅の要支援・要介護者に対し、ケアプランに基づいた個別通所介護計画を作成し、介護予防通所介護・通所介護サービス・介護予防型通所サービス(総合事業)を提供いたしました。公的な事業者として、他施設で受け入れの難しい独居の重度利用者の受け入れもいたしました。		A	他の民間施設では受け入れが困難な方についても積極的に受け入れており、目的に沿った運営が行われている。		意見なし	
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	契約時に重要事項説明書と契約書の読み合わせを行い、ご本人ご家族に利用にあたっての疑問点等がないように説明しています。居宅介護支援事業所のケアマネジャーにもできる限りの同席をお願いして実施しています。		A	居宅介護支援事業所にも可能な範囲で同席を求め、利用者やその家族に疑問が残らないよう、適切な手続きの履行に努めている。		意見なし	
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があつたか。	A	毎月、利用者、居宅介護支援事業所に対して広報誌や施設のサービス内容の周知や曜日別の利用状況一覧表を配布し、利用日の追加や新規利用者の紹介をお願いする活動を継続して実施しました。		B	新規利用者の獲得に向けて、利用者や居宅介護支援事業所に広報活動を行い、新規利用者を獲得したことは評価できる。しかし、収支の均衡には至っていない。		意見なし	
<課題>	平成29年度は定員を30人から20人と減じました。新規利用希望者もあり、曜日ごとの定員が一杯になりました。平成30年2月に、平成31年3月31日廃止の方針で検討と川西市より指示がありました。			広報活動に注力したことで、新規利用者を獲得できた。しかし、収支の均衡には至っていないこと。			意見なし	
<改善内容>	定員の空きが出た場合は、各居宅介護支援事業所のケアマネジャーに空き情報を知らせ、新規利用者の紹介を受けました。			引き続き、新規利用者確保のために居宅介護支援事業所への広報活動・交流を図ること。			意見なし	
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A			A			(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	居宅介護支援事業所からは、重度利用者であっても対応してもらえるという公的施設としての一定の評価をいただきました。設置目的に則り、ご利用者の気分転換やご家族の介護負担の軽減に努め、有効にご利用いただきました。		A	他の民間施設では受け入れが難しい方についても積極的に受け入れており、セーフティネットとしての機能も果たしている。利用者とその家族が安心できるよう配慮しており、設置目的に則って活用している。		意見なし	
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	定員を20人としたので、通院時の振替等を希望される方の希望をすべて反映できない場合もありましたが、少しでもご希望に応える対応を実施しました。定員を減じたが年間総利用者数は442人増加しました。		A	利用者の利用回数増に向けて、柔軟に対応し、通院時の振替等々の難しい要望にも可能な限り対応している。		意見なし	
<課題>	平成31年3月31日廃止まで、限られた職員において、利用者を継続的に受け入れて事業を実施します。			今後は平成31年3月31日の廃止に向けて、利用者が他施設へ円滑に移行できるよう情報提供等の支援すること。			意見なし	
<改善内容>	利用者一人一人に丁寧に対応するため、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの連携を重視しました。			今後も居宅支援事業所との連携を密にし、丁寧な対応を心掛けること。			意見なし	
(1-3) 利用者の満足度	A						(1-3) 利用者の満足度	
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	毎年年度末にアンケートを配布し、次年度のサービス向上等事業内容に反映できるよう努めています。また、廃止に対するご意見も伺いました。		A	年度末の時期にアンケートを実施し、次年度の運営に活かそうとしている。		意見なし	
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	利用者の多くから行事の要望があり、手品やサックス演奏、落語などレクリエーションを充実させました。		A	利用者やその家族から要望の多かった事項を反映した行事を実施するなど、利用者が満足できるように努めている。		意見なし	
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	B	苦情があれば、内容を詳しくお聞きして謝罪し、迅速丁寧に対応しています。		B	苦情があった際には、迅速に対応し、職員間でも情報共有を行う等、適正な処理を行うこと。		意見なし	
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	送迎中、入浴中など利用者の方々のご意見に耳を傾け、施設内でできることは反映できるように取り組みました。		A	利用者の要望を汲み取った上で、必要な支援を個別に実施していることは評価できる。		意見なし	
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	午前中の入浴待ちや入浴後の時間に脳トレクイズ・創作活動・塗り絵・コミュニケーション等個別支援に取り組みました。午後は、言葉集めや無理のない機能訓練、体操などに取り組みます。認知症の予防や機能維持に効果が見られました。		A	必要な支援を個別に実施されており、評価できる。活動内容の種類を増やし提示することで、利用者のニーズとサービスとのマッチングがしやすくなった。		意見なし	
<課題>	平成30年度は、利用者の方々の思いをケアマネジャーに伝え、かつ円滑に他施設へ移行を進めていく必要があります。			今後も居宅支援事業所との連携を密にし、利用者が他施設へ円滑に移行できるよう丁寧な対応を心掛けること。			意見なし	
<改善内容>	利用者からの連絡を受けたものは、誰でも、ホワイトボードと日誌、施設内の連絡ノートに利用者からの連絡内容を共有できるように記入し、必要に応じて迅速に他職員に伝えることとしました。			職員間の情報共有を強化し、利用者の他施設への移行を支援している。			意見なし	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代サービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)			
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	A			A			2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A			A			(2-1) 経費の節減	
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費に関しては、継続して、各職員に経費節減の意識付けを周知徹底しています。また、ガソリン代に関係して、送迎は必要に応じて、燃費のいい軽自動車を利用するようにしています。		A	送迎方法を工夫するなど、職員全員が経費節減に努めている。		意見なし	
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	修繕・購入については、複数業者から見積もりを取って経費が少しでも節約できるよう対応しています。簡単な修理については、職員が対応しています。		A	経費節減のため、販売価格の確認や複数業者からの見積もりを取るなど適宜実践しており、評価できる。		意見なし	
< 課題 >	施設の老朽化の伴い、経年劣化等含め修繕費が増加する見込みがあります。			修繕が必要な箇所については、計画的に取り組むこと。		意見なし		
< 改善内容 >	水道光熱費に関し、経費節減のために電気代の見直しを社協全体で定期的に行っています。			施設が老朽化しているため、軽微な修繕については引き続き複数業者から見積もりを取り、大規模なものについては市と協議すること。		意見なし		
(2-2) 収入の増加	A			A			(2-2) 収入の増加	
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。	A	平成29年度は、定員を30人から20人となりましたが、新規利用者獲得のために居宅介護支援事業者へ空き状況の案内や満寿荘利用者の受入等に取り組みました。		A	広報活動に注力したことが、新規利用者の増加につながった。		意見なし	
② 収入の増加など取り組みの効果は得られたか。	A	平成28年度と比較し、利用人数が増え、介護保険収入が増となりました。		B	介護保険収入は増加したが、収支の均衡には至っていない。		意見なし	
< 課題 >	定員20人では収入に限度があることと、平成31年3月31日廃止の方針があり、新規利用者が止まったことにより、今後の収入増は見込めないと思われます。			平成31年3月31日の廃止に向けて、利用者その他施設への移行を進めていくことで、収入は減少する。		意見なし		
< 改善内容 >	事業所廃止の方針の中、新規利用者が見込めないことなどにより収入の増加は困難な状況です。			特になし。		意見なし		
(2-3) 収支のバランスなど	A			B			(2-3) 収支のバランスなど	
① 収支のバランスは、適切であったか。	A	平成29年度は定員を30人から20人に変更しましたが、平均利用者数が前年度14.88人/日から16.38人/日、延利用者数442人増となりました。介護保険事業収入において562万円増となり、指定管理料収入において422万円減取で、支出も66万円減で、定員20人の単年度としては、収支バランスは概ね適切でありました。		B	新規利用者の増加と定員を減じたことで職員の配置体制が適正化したため、収支状況は改善したが、収支の均衡には至っていない。		意見なし	
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	B	平成29年度より定員を変更したことで、臨時介護職員人件費の削減は実行できました。光熱水費において、電気代は経費削減を実行できましたが、水道・ガスの使用料は、特浴及び介助浴の利用により、ほとんど変わりがなく効率的とは言えない面がありました。		B	人員体制の見直しと電力自由化により、電力会社を見直したことで、経費が削減されたが、ガス及び水道の使用料が低減できていない。		意見なし	
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	適切に処理されていました。		A	過誤や支払トラブル等もなく、適正に収支の管理している。		意見なし	
< 課題 >	平成30年度は、平成31年3月31日廃止に伴って、新規利用者がいない状態での経営管理となるので、できる限りの経費節減をする必要がある。			利用者に負担のない範囲で可能な限り、経費の節減に取り組むこと。		意見なし		
< 改善内容 >	日々の利用人数に応じた、臨時介護職員の配置を行う必要があります。			職員体制を変更する等、利用者に負担をかけない範囲の経費節減に努めること。		意見なし		

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分								
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】			
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況			
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	人員要件に関して、法令で定められたチェックリストを毎年作成し、県民局に提出しています。その際、年間通じての人員配置に問題がないことについて確認しています。	A	法令に則ったチェックも実施しており、適切な人員配置に努めている。	意見なし			
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	『感染症予防研修会』、『福祉施設のための苦情対応』、『認知症の心理と行動』、『平成29年度高齢者虐待対応力向上研修』、『摂食及び嚥下に関する基礎研修』、『介護の日イベント』、『看護職交流会』、『介護に笑いと癒しを』、『公益法人の適正な運営について』、『第19回全国社協職員をつどい』等に参加しました。	A	サービス提供の質の向上につながる様々な研修に参加する機会を設け、職員のスキルアップに努めている。	意見なし			
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	夏冬の空調の温度管理に注意を払い、熱中症の予防のために、水分補給の声かけをしました。電気料金制度多様化に伴い、社協全体の試みとして経費節減に努めています。また、夜間警備について、委託業者を変更することで大幅な経費節減ができました。それに伴い節減額の一部で防犯対策が取れました。	A	費用対効果を意識し、サービスの質を低下させない範囲で経費節減に取り組んでいる。また、防犯対策について、節減した経費を利用して夜間警備体制を整備するなど適切な管理運営を実施している。	意見なし			
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	職員の意見を検討した結果として、前年度に続き、併設の児童・老人福祉センターと共催して、世代間交流事業『デュオコンサート』を行いました。	A	併設施設の特性を有効活用した取り組みを実施するなど良好な管理運営を実施している。	意見なし			
< 課 題 >		平成30年度は平成31年3月31日のデイサービスセンター廃止に向けて円滑な移行ができるよう取り組む必要がある。		特になし。	意見なし			
<改善内容>		研修計画を立て取り組んだ結果、8割以上の職員が研修に参加でき、復命書等で報告を共有しました。。		特になし。	意見なし			
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など			
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	担当者会議や通所介護計画書の実施及び策定状況等について、施設長及び事務局で請求毎に整合性のチェックを実施する体制を取り入れています。また、内部監査が平成30年1月16日に行われました。	A	チェック体制を強化するためにプロジェクトチームを設置するなど、事業運営の一層の適正化に努めている。	意見なし			
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報使用同意書を契約時に締結。個人ファイル等は鍵付き保管庫、パソコンファイルにあっては、本部サーバのみに保存する事を徹底しています。	A	個人情報を鍵付き書庫に保管するなど、適切に対処している。また、パソコン上での取り扱いにも制限を設け、情報の流出防止を徹底している。	意見なし			
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	朝の職員会議で、個々の利用者の身体状況の変化等について情報共有し、リスク管理を徹底し事故の防止に努めています。	A	利用者の状況については、情報共有を行うことで事故防止に努めている。	意見なし			
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	B	避難訓練を実施し、訓練の反省を生かして、対応の見直しも適時行っています。	B	防災訓練を実施し、そこで出た反省点を適宜管理体制に反映するよう努めている。	意見なし			
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	施設内外での事故マニュアル及び災害マニュアルは作成済みです。また偶発症例については、発生時毎に状況が異なることから、各職員の動き等を職員会議で確認し、次の対応に反映させています。	A	緊急用マニュアルを作成し、職員に周知している。また、マニュアルにない事例においても、対応方法が適切であるかを検討する体制を確立している。	意見なし			
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。					意見なし			
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	法令上問題になる場合を除き、全て受入れる方針で対応しています。	A	法令に則り、適切に受け入れを行っている。	意見なし			
< 課 題 >		全職員による法令遵守とリスクマネジメントの意識向上の取り組みが今後も必要です。		特になし。	意見なし			
<改善内容>				特になし。	意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	福祉部 地域福祉課	
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】	
評価ランク	A		A			
・評価できる内容	前年比延利用者442人増による収入増により、予算時より収支差額を増額できました。 また、独居で寝たきりの方のデイサービスセンターの継続した利用があり、公的施設のセーフティネットとしての役割を果たせました。		新規利用者の増加により収入が増加した。 また、他の民間施設では受け入れが困難な方を積極的に受け入れており、目的に沿った運営をしている。		意見なし	
・平成29年度に改善した内容	定員を30人から20人に減じ、介護職員数を減じたことで、経費節減でき、収支の改善を図りました。 防犯対策として、監視カメラを設置いたしました。		定数の変更に伴い、職員配置を見直した。 また、節減した経常経費を利用して監視カメラを設置し、防犯対策に取り組んだ。		意見なし	
・平成29年度に改善したことによる効果	定員を20人から30人に減じたことで、職員体制を見直し、経費節減となりました		新規利用者の増加と定数を減じたことによる人件費の削減により収支状況が改善された。		意見なし	
・問題があり次年度以降改善が必要な点	平成31年3月31日デイサービスセンター廃止の方針を受け、平成30年度は、利用者の円滑な他施設への移行が求められます。		収支バランスの改善を目指して、支出削減に取り組んだが、利用者の減少による減収が著しく、収支バランスの改善に至らないため、廃止を決定した。 今後は、利用者のスムーズな移行を支援するために、丁寧な説明と情報提供に努めること。		意見なし	
・改善方法とその時期	平成31年3月31日デイサービスセンター廃止に向けて、利用者の皆様にかかるご迷惑を最小限にできるように、ケアマネジャーと連携して対処してまいります。		平成31年3月の施設廃止まで利用者の円滑な移行に努めること。		意見なし	

【記入上の留意点】

- 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただけますようお願いいたします。
- 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。